

ソフトボール競技実施要領（知的）

1. 競技規則

平成31年度に適用の全国障害者スポーツ大会競技規則（（公財）日本障がい者スポーツ協会制定）によるもののほか、この要領の定めるところによる。

2. チーム

- (1) チームの構成は、監督1名、コーチ2名、選手15名以内とし、男女は問わない。
- (2) 監督及びコーチが選手を兼ねる場合は、選手名簿に登録されていなければ選手として出場できない。この場合、選手の人数は、選手を兼ねる監督及びコーチを含めて15名以内とする。

3. 競技方法

- (1) 試合はトーナメント方式とする。
- (2) 試合は5イニング制とし、試合開始後60分を経過した場合は、新しいイニングに入らない。ただし、同点の場合は、最終出場選手9名の抽選により決定する。
決勝戦では、同点の場合、タイブレーカーにより試合を延長して行う。
- (3) 3回終了以降10点以上の差が生じたときは、得点差コールドゲームとする。
- (4) ファーストピッチにより行う。
- (5) 競技場のフェア地域および塁間距離と投球距離(13.11m)は、女子の規格に準じる。
- (6) ホームランラインまでの距離は60mとする。
- (7) パスボール、振り逃げ、スクイズバントは適用しない。
- (8) 再出場（リエントリー制）・指名選手（DP制）を採用する。
- (9) 盗塁がおこなわれた時、該当する走者はアウトとする。
ア ピッチャーが投球したボールが、ホームベースを通過した時点でボールデッドとし、盗塁、キャッチャーからの牽制、暴投による進塁など、その後のプレーは成立しない。
イ ランナーが帰塁を故意に遅らせた場合は、審判団から厳重に注意をし、再度繰り返す場合は、審判団の判断で遅延行為によりランナーをアウトとする。
- (10) 試合球は、（公財）日本ソフトボール協会検定ゴム製3号球とする。
- (11) 1回で5点を取った場合、その時点で攻守を交代する。
- (12) その他、監督会議において申し合わせ事項を設けて競技することができる。

4. 服装等

- (1) 金属製のスパイクの使用は、禁止する。
- (2) 同一チームの監督、コーチ及び選手は、同色・同意匠のユニフォームを着用しなければならない。また、男子は同じ帽子を着用しなければならない。

(3) ユニフォームナンバーは、背中と胸下に付けなければならない。監督は30番、コーチは31・32番、主将は10番とし、他の選手は1番から99番までの番号とする。

(4) 打者・打者走者・走者・次打者席内にいる次打者および1・3塁のベースコーチは、両耳あてのある同色のヘルメットを着用する。また、捕手は捕手用ヘルメット、スロートガード付マスク、ボディプロテクター及び膝当て付きレガースを着用する。

5. 組合せ

組合せは、事前に開催する監督会議の場において決定する。開催日時は別途参加チームに連絡する。

6. 打順表

打順表は試合開始予定時刻の30分前までに5部作成し、競技本部へ提出する。攻守順の決定は、打順表提出時に審判員立会いのもと、「コイントス」によって決定する。

なお、打順表は、事前に開催する監督会議の場において配布する。

7. その他

ベンチは、組合せ表の番号が若いチームを一塁側とする。